

ジメジメ、憂鬱な梅雨時期

住まいの快適レポート

湿気・カビ対策を万全に、快適な暮らしを!

高温多湿となるこれからの時期は、カビの繁殖も活発になり、注意が必要です。室内環境を整え、すっきり快適、健やかな日々を過ごしましょう!

カビ が発生する 主要要因

- 湿度 湿度約 80% で、カビの繁殖は活発に。
- 温度 温度 5～35℃前後で、カビの胞子は付着した表面の栄養と水分を利用して発育。
- 栄養 食品・ホコリ・髪の毛などの有機物質がカビの養分になる。



対策 Point 湿度管理を徹底

カビは、湿度 60% 以下になると発育が鈍るため 50% 程度を目安に。湿度を下げるのに最適な除湿機やエアコンは、メンテナンスを怠ると、カビの温床となってしまうので注意が必要です。

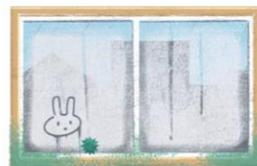


対策 Point 入浴後は高温シャワーを実施

浴室はカビの住処。入浴後は、50℃程度の高温シャワーを浴室内にかけるだけで、カビの撃退をサポート。浴槽や壁などの水滴も拭き取りましょう。

対策 Point 見落としがちな結露も要チェック

窓ガラスの結露を放置すると、窓枠やカーテン、床にもカビが発生するリスクが高まります。水で薄めた食器用洗剤を染み込ませた雑巾で窓ガラスを拭き、仕上げに乾拭きすると結露防止に役立ちます。



対策 Point 基本は窓を開けて換気を

湿気がこもらないように、窓を開けて換気することが重要。タンスの扉も1日1回は開けて、サーキュレーターを稼働させ、空気の通り道を作りましょう。また家具と壁とを密着せず、10cm 程度離して配置するのが賢明です。

湿気対策に、新聞紙・重曹・竹炭が大活躍!

湿気の吸収力に優れ、消臭効果もある新聞紙・重曹・竹炭を活用しましょう。

- 布団を床に敷く場合は、布団の下に新聞紙を置くと、効率よく除湿可能。
- 重曹は空き瓶に入れて、蓋を開けたままシンク下などに配置を。
- 調湿も叶う竹炭は、靴箱に最適。効果が薄れてきたら、天日干しをすると復活するので、エコなアイテムです。



オススメ商品 リデア

ゆったりとお湯に浸かって過ごす、くつろぎのバスタイム



©株式会社 LIXIL

洗い場からバスタブへの動作をサポートし、収納もたっぷりのスマートエスコートバーで安心して入浴することができます。

また、パツとくるりんポイ排水口は渦のチカラで髪の毛やゴミをパツとまとめます。渦でまとまったゴミをポイとすることで、お掃除が簡単です。



©株式会社 LIXIL



©株式会社 LIXIL

商品のお問合せは…



笹野工務店

